

IoT活用した省エネ支援サービス

コスモウエーブ(福岡市博多区)が全国販売

【福岡】システム開発などエンドユーザーと太いパイプを持つF.A.商社(市博多区)は、IoT機器を活用したエネルギー管理支援サービスの全国販売に乗り出す。これまでは同社の営業拠点がある福岡県内と東京都内で直接販売してきたが、田代登志雄社長は「実績と経験値、コンサルティンク能力が身に付いた」と強調。工場や流通小売り



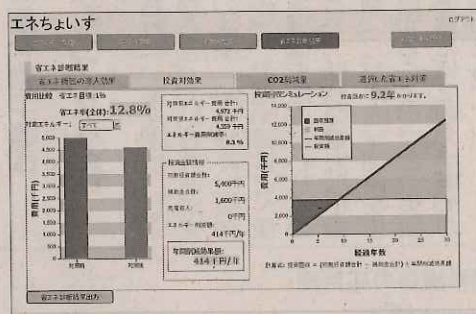
田代 社長

者、カーボンマネージャなどの資格取得を積極的に推進。全社員25人中、環境系の有資格者数は5月末現在で7人にまで増えた。

環境コンサルティンクを提供する事業者はほかにもあるが、「データの分析や評価、システムによる制御など、環境分野

にIoTは必要なキーワードになった」とし、自らがシステム開発できる強みを生かし、同業他社と差別化を図っている。

エネルギー管理支援サービス「エネちよいす」は16年1月に発売。中核となる「エネちよいす・システム」は税別11万8850円から、



工場やビルに設置した温度計(CO₂濃度計、照度計など)IoT機器のデータを無線でクラウドに吸い上げ、パソコンやタブレット、スマートフォン(システムやアプリケーション)

初期費用は税別50万円からで、電機メーカー大手などが発売するBEMS(ビルエネルギー管理システム)などと比べ、5分の1程度に抑えられる低価格が強みだ。エネルギー管理士が監修する「エネルギー管理サポートサービス」を毎月レポートする。

冷熱機器商社、省エネ関連企業などと代理店契約を結び、初年度100社への導入を目指す。

無線方式で配線工事が不要なため、工事は2時間程度で完了。センサーから無線ルーターまでの通信距離は10m以内あるため、あらゆる業種で利用可能という。

導入規模にもよるが、初期費用は税別50万円からで、電機メーカー大手などが発売するBEMS(ビルエネルギー管理システム)などと比べ、5分の1程度に抑えられる低価格が強みだ。エネルギー管理士が監修する「エネルギー管理サポートサービス」を毎月レポートする。

ネ関連の各種法律に対応したコンサルティンクも提供。省エネ補助金のサポートも同社が窓口となつて各メーカーに橋渡しする。